

学年	教科等	単元名	日時
第4学年	国語科	考えたことを文章にまとめよう (教材：世界一美しいぼくの村) (第9時)	令和8年2月6日(金)

1 本時の目標

「世界一美しいぼくの村」の終わり方について、感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方等に違いがあることに気付くことができる。

2 指導過程

学習活動及び学習内容 (★は評価にかかわるもの)	「自律的に学ぶ」ための手立て
<p>1 本時の学習について話し合う。</p> <p>○ 物語の終わり方 (感想や考えⅡ)</p> <p>・「この物語はとても悲しい終わり方だと思う。ヤモが『世界一美しいぼくの村』と言っているのに、最後には突然村がなくなるから。」 等</p> <p>○ 本時のめあて</p> <p>学級のラストページ本話会を開き、仲間の考えとの違いを見付けよう。</p> <p>2 学習の見通しをもつ。</p> <p>○ 学習形態</p> <ul style="list-style-type: none"> 似た考えの仲間との対話 多様な考えの仲間との対話 <p>3 物語の終わり方について伝え合う。(★)</p> <p>○ 物語の終わり方とその理由 (似た考え)</p> <p>A：私は、この物語はとても悲しい終わり方だと思う。ヤモが「世界一美しいぼくの村」と言っているのに、最後の場面で突然村がなくなってしまったから。</p> <p>B：僕は少し理由が違って、兄さんが帰ってくる前に、村がなくなってしまったから悲しい終わり方だと思う。</p> <p>A：その文章からも悲しい感じが伝わってくるよね。</p> <p>○ 物語の終わり方とその理由 (多様な考え)</p> <p>A：私は、この物語はとても悲しい終わり方だと思う。ヤモが「世界一美しいぼくの村」と思っていたのに、最後の場面で突然村がなくなってしまったから。そして、兄さんが帰ってくるはずの春になる前に村がなくなってしまったことを思うと、もっと悲しくなるから。</p> <p>C：私は、この物語は怖い終わり方だと思う。足をなくしたおじさんが出てきたり、戦争の様子がたくさん出てきたりしているから。</p> <p>D：「その年の冬、村は戦争ではかいされ、今はもうありません。」という文章から、もしも自分の住んでいる町がなくなったら嫌だと感じたよ。</p> <p>A：みんなの考えは違うけれど、どれも暗い感じだね。</p> <p>○ 全体の考え</p> <p>4 物語の終わり方について感じたり、考えたりしたことを音読する。</p> <p>○ 物語の終わり方 (感想や考えⅢ)</p> <p>(例)「世界一美しいぼくの村」は、ヤモの自慢だった村が突然なくなってしまい、とても悲しい終わり方だと思う。兄さんが戦争に行っていることや、足をなくしたおじさんの姿を思い出すと、ヤモがこれからどうなるのか心配だ。</p> <p>○ 物語の終わり方 (感想や考えⅡ) との比較</p> <p>5 本時の学習をふりかえる。(★)</p> <p>○ 変容のきっかけ</p> <p>・「私は、この物語の終わり方についてみんな悲しい終わり方と感じていると思っていたけれど、Cさんの考えを聞いて、戦争の怖さも感じる終わり方があると納得した。」 等</p>	<p>○ 物語の終わり方について感じたことや考えたことについて複数の教師が書いた文章を提示し、自分の考えと同じかどうかを問うことで、自分の感想や考えを想起することができるようにする。</p> <p>○ 学級の仲間と自分の考えが同じであることを問い、本時は仲間の考えとの違いを見付ける時間であることを伝えることで、本時の目的意識をもつことができるようにする。</p> <p>○ グループで対話をする際に、仲間を入れ替えて2回実施し、自分の考えと仲間の考えとの違いを確かめ合うことを確認することで、見通しをもち、仲間の考えへの興味をもつことができるようにする。</p> <p>○ 仲間との対話をする際には、新たな考えを原稿に加筆・修正してもよいことを伝えることで、仲間の考えとの違いに気付き、自分の考えを再構成しながら対話することができるようにする。</p> <p>○ 事前に学習前の考えを把握し、似た考えをもつ仲間のグループを意図的に編成することで、似た考えでもその理由の違いから一人一人の感じ方等に違いがあることに気付くことができるようにする。</p> <p>○ 多様な考えの仲間との対話の際には、仲間のどの発言に納得したのかを問うことで、一人一人の感じ方等に違いがあることに気付き、自分の考えを見つめ直すことができるようにする。</p> <p>○ 全体で考えを出し合う際には、どの叙述から「○○な終わり方」と感じたのかについて問い、子どもの考えを似た言葉で分けて板書することで、同じ叙述からでも感じ方等が違うことに気付けるようにする。</p> <p>○ 対話をとおして加筆・修正した「感想や考えⅢ」を音読する場を設けることで、考えが変容したことや、考えがより明確になったことを再確認することができるようにする。</p> <p>○ 「感想や考えⅡ」と「感想や考えⅢ」を比較してどのように考えが変わったかを問うことで、理由が増えたり、新たな視点が加わったりしたなどの変容に気付くことができるようにする。</p> <p>○ 考えの変容や、理由の深まりが見られた子どもに対して、誰の何という発言が考えの変容につながったのかを問うことで、考えが変容したきっかけに気付くことができるようにする。</p>

